

バイオ医療学の人材育成をめざし長浜バイオ大学と連携
「びわこバイオ医療大学間連携戦略」



分子神経科学研究センター教授
遠山 育夫

バイオ医療学の人材育成をめざし 長浜バイオ大学と連携

「びわこバイオ医療大学間連携戦略」

分子神経科学研究センター教授 遠山 育夫



滋賀医科大学と長浜バイオ大学の
連携事業で調印式。
(平成20年9月25日京都新聞より)

文部科学省の 「戦略的大学連携事業」に採択

生命科学の知見を基礎とするバイオテクノロジーは、21世紀の社会、経済に大きな変化と進歩をもたらすものと期待されています。

バイオ関連産業を重点産業の一つとして位置づける滋賀県では、滋賀バイオ産業推進機構を立ち上げ、滋賀医科大学と長浜バイオ大学などを学術研究拠点として、バイオ産業の創出と人材の育成に取り組んできました。

滋賀医科大学の医学と長浜バイオ大学のバイオテクノロジーという、それぞれの専門分野を生かし、大学間連携を進めていくために、このほど共同事業として「びわこバイオ医療大学間連携戦略」を立ち上げました。

さらにこの共同事業が、文部科学省の平成20年度「戦略的大学連携支援事業」に選定され、平成20年9月24日には、長浜バイオ大学の下西康嗣学長と本学の馬場忠雄学長による、事業の共同実施に関する協定書への調印式が行われました。

戦略的大学連携支援事業は、文部科学省が

国公立大学の連携によって、地方の大学教育の充実を成し得るような優れたプログラムに対して財政支援を行うもので、平成20年度に新規に設けられたものです。

新しい学際領域 「バイオ医療学」創出をめざして

近年、全国各地の大学で医工連携が進められていますが、医学とバイオサイエンスの連携は、バイオサイエンス専門の大学が少ないこともあって、まだ緒に就いたばかりです。

そんな中で、「バイオ医療学」という新しい学際領域の創出を掲げた今回の取り組みについて、地域経済の活性化をはじめ、健康・医療・介護等に関する諸問題の解決に寄与できるのではないかと期待が集まっています。

以前から、滋賀バイオ産業推進機構の主要学術拠点として交流のあった両大学が、姉妹校として大学間協定を締結したことで、一歩踏み込んだ連携が行えるようになります。

今後、医学とバイオサイエンスという特徴的な教育・研究分野で、両大学の教育研究資

バイオサイエンス2つの博士号を持つ研究者を輩出することも可能です。

今後、FD・SD研修の共同実施、びわこ連携大学事務センターの共同設置、高大連携の共同実施などにも取り組みながら、産学官

源を有効活用することによって、より高い水準の特色のある教育・研究を行うことが可能になり、大学運営基盤の強化を図っていくことができます。

共同事業で知的、物的資源の 有効利用を図る

共同事業には、それぞれの特徴を生かして大学間連携を行う連携基盤事業と、将来の共同大学院設立を視野に入れた、バイオサイエンスと医学・看護学の融合した新しい教育・研究分野を共同で開発する共同大学院事業の二つの柱があります。

共同授業・連携教育では、滋賀医科大学から、解剖見学、組織実習、脳実習、医療倫理学、動物実験学などの講義を長浜バイオ大学の学生に提供します。長浜バイオ大学は、バイオインフォマテクス(生物情報学)、統計学、先端バイオテクノロジーなどの実習や講義を本学の学生に提供します。

また、バイオ医療学に関する教材の共同開発に取り組み、法律上、倫理上の課題を克服するために、人体や脳をはじめとする臓器のコンピュータグラフィック教材の開発、樹脂包埋した臓器や組織標本の作製、ゲノム情報を安全かつ簡単に利用できるシステムの開発などをめざします。

さらに教育・研究施設および設備の共同利用を実施するため、両大学の図書館の共同利用のほか、長浜バイオ大学が有するスーパーコンピュータを共同利用できるように、両大学間のネットワーク設備の充実を図ります。

長浜バイオサイエンスパークにあるインキュベーション施設を共同で借り受け、地元バイオ産業や医療・健康産業関連企業と

共同事業を含め、滋賀県内でバイオ医療学に関する産業創出や人材の育成・供給などを通じて、地域経済の活性化に貢献していきたいと考えています。

バイオ医療学の専門家を育てる 共同大学院を新設

また、共同大学院事業では、共同大学院の新設を視野にいて、バイオ医療という学際領域の創世と、高度な知識を身につけた人材の育成に共同で取り組んでいきます。

今日の医学の発展にバイオテクノロジーは不可欠ではありますが、バイオサイエンスで扱う遺伝子データは、一兆×一万バイトという膨大な量であることから、これまでのように医学研究の延長として行うことは難しく、膨大なデータを取り扱う新たな専門家集団が必要になっていきます。

共同大学院事業では、大学の枠を超えて複数の教員が指導教員となる連携指導教員制度による教育と、医師大学院生と医師以外の大学院生がチームを組んで研究に取り組むバイオ医療学チームリサーチ制度、ならびにバイオ医療学人材育成プログラムを実施します。将来、共同大学院が設立されれば、医学と

